

小山の小学生ら ほ場の水路で生き物調査

小山市  
下野新聞 2017年8月29日

# 小山の小学生ら ほ場の水路で 生き物調査

「エコ農業」理解深める

【小山】「エコ農業とちぎ」について理解を深めてもらおうと、県下都賀農業振興事務所は27日、黒本の公開ほ場で交流会を開催し、地元小学生らが生き物調査を行った。

「エコ農業とちぎ」は地

球温暖化防止や生物多様性の維持・向上、環境負荷の低減、安全・安心・信頼性の確保という四つの課題解決に向けた取り組み。生産者と消費者が協力した環境に優しい農業を進めている。

今回の交流会は、みたとうぶ保全会（高瀬孝明代表）が昨年12月ごろに整備したほ場の土水路で実施。地元農家や小学生、住民ら約60人が参加した。

小学生は泥にまみれながら約1時間にわたり、網などを使って土水路に生息する魚などを捕獲。コイやタガメ、ナマズなど計8種類の生き物を観察した。



泥にまみれながら生き物を捕まえる児童たち

豊田北小6年 畠山理有さん（11）は「いろんな魚がいて、地元はいいなと思った」、同正木伶奈さん（11）は「知らない魚の名前を覚えられてよかった」と笑顔で話した。

（大貫菜伊子）